

官民でトランジション・ファイナンスを推進するための ファイナンスド・エミッションに関するサブワーキング

2023年2月

金融庁 総合政策局 総合政策課
経済産業省 産業技術環境局 環境経済室
環境省 大臣官房 環境経済課

(1) 本サブワーキング設立背景

2022年12月に取り纏めを行った「産業のGXに向けた資金供給の在り方に関する研究会 施策パッケージ」及びGX 実行会議で示された「GX 実現に向けた基本方針（案）」において、ファイナンスド・エミッションに関する国際的な算定・開示方法を踏まえつつ、トランジション・ファイナンスの取組が阻害されないよう、ネットゼロに向けた投融資として積極的に評価するための枠組みを検討することとしている。当該検討を行う場として、三省庁共催の「トランジション・ファイナンス環境整備検討会」の下に、本サブワーキングを設置する。

(2) 具体的な検討項目について

排出削減を行う企業による脱炭素に向けた投融資を積極的に評価するためのファイナンスド・エミッションに関する基本的な考え方を整理し、算定・開示方法の具体的なあり方及び効果的な国際発信の方法やタイミングを検討する。なお、本検討項目については、民間イニシアチブでも議論がなされはじめていることから、民間ベースの議論を政府としてエンドースする形で我が国としての考え方をまとめる。

(3) 本サブワーキングの運営について

- 事務局作業は、NRI（経済産業省より委託）が行う。座長は置かず、実務的な議論を行う。
- 会議開催日程・議事概要・委員名簿・事務局資料等については原則公表する。一方で、参加者の自由な議論を担保する観点から、議事要旨・事務局資料以外の配付資料は原則非公開とする。ただし、検討結果についてはトランジション・ファイナンス環境整備検討会に報告するものとする。

(4) スケジュール（案）

- 2023年2月1日：キックオフ、民間イニシアチブにおける議論の動向共有、ファイナンスド・エミッションに関する課題提起ペーパー案確認
- 2023年2月：課題提起ペーパーの取り纏め
- 2023年3月：課題提起ペーパーについて官民双方で適宜発信
- 2023年春以降：課題に対する具体的な対応策（算定・開示方法等）の検討、ポジションペーパー最終版の策定、公表

以上